

“療育の質”によっても成長が大きく変わる

◎畑は同じでも肥料の与え方によって大きく違う



療育の“時期”によっても成長が大きく変わる

◎後から肥料を与えても・・・与える時期が重要



まず考えたい！

なぜ成績がよくないといけないか？

一般の“高校入試”で必要になるため！

5教科の合計得点+内申書の点数=高校の合否

一般的に5対5の割合、一部進学校は6対4？

※私立のなかには5教科の内申書の点数の所も？

しかし『特別支援学校高等部』や『特別な高校』
や『専修学校』は、入試の合否に関係ない所も？

つまり、一般の高校に進学しないなら、内申書
の点数（通知表の1～5）は、実質関係ない！

恐るべし！特別支援教育の就職率

☆特別支援学校へ行けば、“必ず障害者の就労先
を見つけてくれる”は夢物語！

■特別支援学校高等部卒業者の就職率は・・・

全国32.3%（岐阜県38.0%）

なんと3人に一人しか就職できていない！

これが現実！中3の後、「特別支援学校高等部」
なのか？「高等学校」進学なのかは大きな分岐点
※子どもに合った進路をしっかりと学校と話し合う

『天を望みて、地を歩む』

→18歳の出口を考えて今の療育を行う

なぜ、「今が大切」と今ばかり見るのか？

→毎年変わる担任、責任がもてない？

《まず18歳以降の三つの生き方を考える》

- 1 手帳を使って「障害者」として生きていく
- 2 手帳をもたずに「健常者」として生きていく
- 3 1と2の合わせ技、手帳と学歴をもつ生き方

今日のお話の内容

(子どもたちのためになるよい教育・療育を知ってもらいたい。)

- 1 どのように内申書(1~5)をつけるのか？
- 2 支援級や不登校でも進学できる高校がある
- 3 この子に必要な勉強は？何をすればよいか？
- 4 自力で進学したり、就労するために必要な力

それでは、中三以降どのような道に進むか

「特別支援学校高等部」進学か？

それとも「高等学校進学」か？

×現在中3卒業後社会に出る子は100人に一人？

1 特別支援学校高等部進学の場合

- 通常の支援学校高等部に進学
- 高等特別支援学校高等部進学 (学力必要)

2 高等学校進学の場合

- 通常の公立・私立の高等学校 (内申点必要)
- 特別な高等学校(支援学級から進学可能)
(例)通信制サポート高校や専修学校

文部科学省が

「新学習指導要領」で示す三観点
(以下の三観点を決める)

1. 個別の知識・理解
 2. 思考力・判断力・表現力等
 3. 学びに向かう力・人間性等
- ☆今回の改正で強調されたのは
「多様性への理解や主体性、問題解決能力」の育成です。

では、具体的にどのように評価するか？
(通知表の1～5は主に以下の三観点で決める)

1. テストの点数
(単元テスト＋期末テスト)
2. 提出物
(日々の宿題＋ノート提出)
3. 授業態度 (主体的な態度)
(発言＋授業の参加態度)

1. テストの点数 (単元テスト＋期末テスト)

- 【1】 クラスで下位 1～3人
- 【2】 平均点より下
- 【3】 ほぼ平均点
- 【4】 平均点より上
- 【5】 クラスで上位 1～3人

2. 提出物 (日々の宿題＋ノート提出)

- 【1】 提出しない
- 【2】 遅れて提出
- 【3】 期日に全て埋めて提出
- 【4】 丁寧なやり直しをして提出
- 【5】 自主学習内容を加えて提出

3. 授業態度 (発言＋授業の参加態度)

- 【1】 授業の妨害や邪魔をする
- 【2】 やる気なし 挙手少ない
- 【3】 普通に授業に参加
- 【4】 やる気あり 挙手多い
- 【5】 できない子を助ける

では、例を出します(テストはよいが・・・)

1. テストの点数 . . . 5
2. 提出物 1
3. 授業態度 1

$$(5 + 1 + 1) \div 3 = \underline{2.3}$$

つまり、ほぼ通知表は『2』

では、例を出します(テストは悪いが・・・)

1. テストの点数 . . . 1
2. 提出物 4
3. 授業態度 4

$$(1 + 4 + 4) \div 3 = \underline{3}$$

つまり、ほぼ通知表は『3』

学校は“結果”より“過程”を大切にする

つまり、学校は、
テストの点がよくなるのは、
日々の取り組みや授業態度が
よいからと考えている。

→過程（プロセス）を評価する
ことが“教育”として重要
と考えているのです。

今からできること 今からやるべきこと

【プロセスを褒める教育】

- ◎まずは、毎日登校できること。
- ◎提出物は期日に出す。
- ◎間違えたところは丁寧にやり直して出す。
- ◎とにかく進んで手を上げる
- ◎分からないことは、先生に質問に行く。

学校の先生に伸びるポイントを聞く

【苦情ではなく前向きな懇談】

【先生との懇談のポイント】

- ◎低い評価の理由を聞く
- ◎何を改善するとよいか考える
- ☆『家庭ですること』『塾や放課デイですること』『学校ですること』を具体的に明確にして実践！

今日のお話の内容

(子どもたちのためになるよい教育・療育を知ってもらいたい。)

- 1 どのように内申書（1～5）をつけるのか？
- 2 支援級や不登校でも進学できる高校がある
- 3 この子に必要な勉強は？何をすればよいか？
- 4 自力で進学したり、就労するために必要な力

①公立高校 特別支援対応校

(定時制・単位制・インクルーシブ枠・通級)

- 定時制高校・・・◎安い ○4年制も有 (今は、“夜間”とは限らない)
- 単位制高校・・・◎安い ◎登校が少 (学校によって様々な仕組み)
- インクルーシブ枠 (通常の高校に特別枠が数名ある)
- 通級・・・小中と同様の制度が高にも (まだまだ見切り発車のところがある)

②私立高校 特別支援対応校

(実質少人数で丁寧な支援・指導)

- 支援学級や内申点がなくても受け入れOK
- 卒業後の推薦枠を多く持っている
- ※高校から中学校に事前の説明に来ている
- ※中学の先生に問い合わせれば教えてもらえる

(例)

本当の定員は1クラス40名であるが・・・
実際は20名程度で手厚い支援が受けられる

③通信制高校

(たくさんの支援が必要な生徒も受け入れ可)

- 出席日数に対して理解がある
- 74単位で高卒という、少ない学習内容
- 少人数・個別中心の指導

※「スクーリング」には参加する必要あり

▲学費が通常の高校の二倍近く必要になる

- ・通信制高校と言っても様々なタイプがある
(例) 明蓬館SNEC高等学校などがある

④専修学校(専門学校+通信制高校)

※「専門学校」+「通信」で学習内容は多い
(その内容に興味があれば◎)

▲「専門学校」+「通信」で学費が少し高い

- 基本、毎日朝から夕方まで出席する必要あり
- 74単位+専門学校の学習
(注意: 国家資格は受かるとは限らない)
- 基本、1クラス40人近い大人数の学習
・専門学校の内容にはいろいろなタイプがある

入学できることより「卒業できる」学校か？ 『卒業後の進路は大丈夫か？』を考える

《進路選びのポイント》

- ①入学試験は何か(学力試験の有無・面接)
- ②進級・卒業の条件
(期末試験の有無・卒業単位数74~110)
- ③先生の専門性(どんな先生がいるのか)
- ④出席日数が一定量必要な学校なのか
- ⑤少人数・個別対応をしてくれる学校か？
- ⑥卒業後の進路や就労の面倒を見てくれるか
- ⑦卒業までの学費はどれぐらい必要か？

今日のお話の内容

(子どもたちのためになるよい教育・療育を知ってもらいたい。)

- 1 どのように内申書(1~5)をつけるのか？
- 2 支援級や不登校でも進学できる高校がある
- 3 この子に必要な勉強は？何をすればよいのか？
- 4 自力で進学したり、就労するために必要な力

①『やりなさい』ではなく『一緒にやろう』

×口だけの指示はダメ

◎よい姿を見せてまねさせる

『できることからの出発』

◎頑張ったからできた

◎一生懸命やって褒められた

→成功体験の積み上げが大切

②宿題や提出物は親が手伝ってもよい

×出さない 遅れて出す

◎大人が手伝ってもよい

『読書感想文も同じですね』

☆低学年までは保護者（親）と

☆中高学年からは、放課後等デイや塾、家庭教師を活用する

③いつまでやり直しができるのか

▲中学校卒業後は難しい

◎できるなら小3より前がよい

『小3から難しくなるわけ』

☆学習が難しくなり、努力しないと身につかない内容になってくる。成功体験が得にくい。

中3までならやり直しは可能！

中3卒業後からもやり直す方法がある！

18才以降でもやり直す方法がある！

『就労移行支援事業』って何？

“就労移行支援事業”とは、障害者総合支援法を根拠とする障害者への職業訓練制度であり、一般就労等を希望し、知識・能力の向上、実習、職場探し等を通じ、適正にあった職場への就労等が見込まれる65歳未満の者を対象とした支援事業のこと
→うまく続かなかったときは再度利用が可能

『就労定着支援事業』って何？

“就労定着支援事業” 2018年に新たに創設された障害者総合支援法を根拠とする障害者福祉サービスの一つ。障害者が企業に勤める際の課題を把握し、企業などが課題解決に必要な支援（企業と家庭との連絡調整等）を行う事業のこと
→『ジョブコーチ』等の活用がある

今日のお話の内容

（子どもたちのためになるよい教育・療育を知ってもらいたい。）

- 1 どのように内申書（1～5）をつけるのか？
- 2 支援級や不登校でも進学できる高校がある
- 3 この子に必要な勉強は？何をすればよいか？
- 4 自力で進学したり、就労するために必要な力

学力については中3の後に“どこをめざすか”によって変わってくる

→ロケットの着地地点を先に決めること

- ①通常の高校に進学・・・中2～3の学力
- ②特別な高校に進学・・・小6～中1の学力
- ③高等支援学校に進学・・・小4～小5の学力
（春日井・もちの木等）
- ④通常の特別支援学校進学・・・学力は必要としない
着地地点（目標）が決まったらどこで身につけさせるか？
○家庭内で ○放課後等デイサービスで ○塾で
○家庭教師で ☆継続的に関われる場所が望ましい

まずは、何を身につけることが重要なのか
※0歳～15歳までに身につけたい社会性
～S-M社会生活能力検査から～

- 1 身辺自立
- 2 移動
- 3 作業
- 4 意志交換
- 5 集団参加
- 6 自己統制



就職するために必要なことは……

大山会長（日本理化学工業）
の採用条件



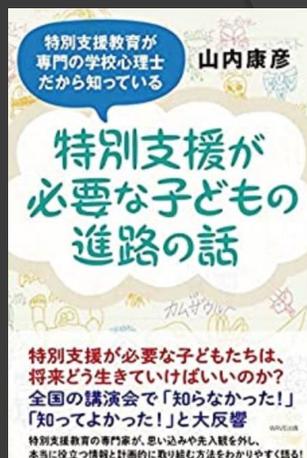
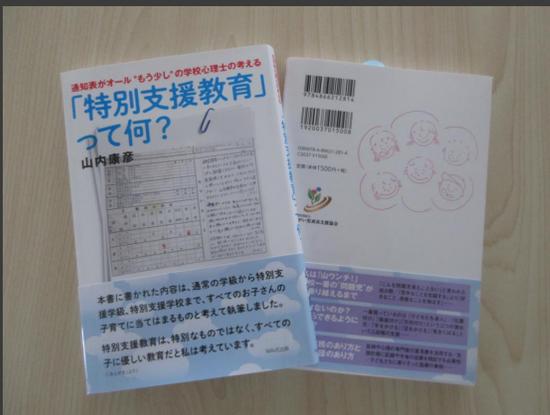
- ・ 身辺自立
- ・ 自分で会社に通う
- ・ 「やろう」と言われたら
すすんでやる
- ・ 仲間にいじわるをしない
- ・ 気持ちのよいあいさつ

就労の違い（山内の指導経験から）

- 7歳未満の力では生活介護
- B型事業所へ行くなら（9歳の力）
- A型事業所へ行くなら（12歳の力）
- 一般就労するならば（15歳の力）

☆特別支援が必要な子は、学力以上
に、『適応能力（社会性）』の
力が重要になる→今から療育！

困り感を共感的に受け止め、早期から適切な支援を継続的に行うことが大切



特別な支援は、もはや特別なものではありません
全ての子どもたちにとってやさしい支援なのです

ご清聴ありがとうございました。